

懐かしい旅 その4

中国奥地に幻の花、青いケシをもとめて

ハイキング散策の会 渡邊 美穂子【S40 文】

第4回目の旅は前々から憧れていた幻の青いケシを求めて2004年7月1日から8日まで15名の花を愛する仲間と中国四川省の奥地へ旅しました。

青いケシ(ブルーポピー)は学名メコノプシスと言い中国南西部の横断山脈からヒマラヤ山脈にかけての標高3800m~4500mの山岳地帯に自生するケシで70種類以上が知られ、青紫色系の花の他白、黄、ピンク、赤、暗赤などの種類がありそれは綺麗な花です!



上海から成都に入り 都江堰を見学

都江堰

岷江が竜門山脈を抜け、成都平原にでるところに形成された扇状地の扇頂部に設けられた堰

(紀元前3世紀)

5300km²に及ぶ農地に水を供給、水不足に苦しんでいた成都平原はこの堰のおかげで大穀倉地帯になった。

バスで移動していると、左右の草原はケシ、リュキンカ、あやめ、桜草、風露草などがあちらこちらに咲いている。だが、目的の青いケシの花を見つけることはできなかった





桜草の群生が見事でした



虎跳峡
雲南省の金沙江（長江上流の名称）の
本流にある深い峡谷 長さは16Kmで
上流から、上虎跳、中虎跳、下虎跳の
三段に分かれている



四姑娘山（スークーニャン）四川省
邛崃山脈の4つの山（四姑娘大峰、
二峰、三峰、幺妹山）の総称
5000mから6250m



青いケシの花が見つからず、現地情報を集めた結果
巴朗山の北側、4000m付近に咲いているらしいとのこと



早速、この山道を、4000m近くまで
上った



巴朗山峠で、ガレ場の岩陰にひっそりとしかし凛として
咲いている青いケシの花を見つけることができました



大熊猫基地 (パンダ飼育基地)



世界一大きい楽山大仏 船上から見学





武侯祠
武侯とは三国志に出てくる諸葛亮のこと



成都の市場



成都での最後の晩はデラックスな四川料理

この旅行記は、会報No44（1016年10月発行）に、「中国奥地に幻の花 青いケシをもとめて」として掲載されています。